

- 次第
 - 予算執行見込み
 - 次回推進委員会、プログラム開発委員会開催予定時期等
 - 学修コミュニティイベント
 - ワークショップ
 - 情報公開 Web サイト
 - カリキュラム変更手続きスケジュール
 - 全国版ポータルサイト

2.3.5 学内定例会議#5

- 日時:201/02/24(火) 15:00-16:00
- 場所:産業技術大学院大学 351-b 会議室
- 出席者
 - 川田 誠一 氏
 - 小山 裕司 氏
 - 酒森 潔
 - 國澤 好衛 氏
 - 佐々木 信夫 氏
 - 文屋 宏 氏
- 次第
 - 平成 27 年度「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」事業計画書
 - 高度人材養成のための社会人教育ワークショップ次第
 - 起業塾開催内容(案)
 - 学び直し推進委員会・プログラム開発委員会の開催日程
 - 平成 26 年度社会人学び直し事業 予算管理表
 - 各費目追加執行予定事項(案)

2.4 高度人材養成のための社会人教育ワークショップ

2.4.1 ワークショップ次第

- 日時:2015/03/10(火) 11:00-16:55
- 場所: ホテルサンルート品川シーサイド 16階会議室「海」
- スケジュール
 - 11:00-11:10 開会挨拶
 - 11:10-11:40 講演① 板倉 宏昭 氏(香川大学大学院地域マネジメント研究 研究科長 教授)
 - 11:40-12:10 講演② 久野 靖 氏(筑波大学ビジネスサイエンス系 教授)
 - 13:20-13:50 講演③ 戸沢 義夫 氏(産業技術大学院大学産業技術研究科 情報アーキテクチャ専攻 教授)
 - 13:50-14:20 講演④ 田中 秀穂 氏(芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科 研究科長 教授)
 - 14:35-15:05 講演⑤ 大場 みち子 氏(はこだて未来大学情報アーキテクチャ学科 教授)
 - 15:05-15:35 当事業成果報告 小山 裕司 氏(産業技術大学院大学附属図書館長 情報アーキテクチャ専攻 教授)
 - 15:50-16:50 パネルディスカッション
(パネリスト)
久野 靖 氏(筑波大学ビジネスサイエンス系 教授)
田中 秀穂 氏(芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科 研究科長 教授)
大場 みち子 氏(はこだて未来大学情報アーキテクチャ学科 教授)
名嘉村 盛和 氏(琉球大学工学部 情報工学科 教授)
宮里 大八 氏(琉球大学琉大コミュニティキャンパス事業本部 特命准教授)
酒森 潔 氏(産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長)
國澤 好衛 氏(産業技術大学院大学 創造技術専攻長)
飯尾 淳 氏(中央大学 文学部 社会情報学専攻 教授)
(コーディネーター)
小山 裕司 氏(産業技術大学院大学附属図書館長情報アーキテクチャ専攻 教授)

• 会場の模様



2.4.2 講演① 香川大学

- 講師:板倉 宏昭 氏(香川大学大学院地域マネジメント研究 研究科長 教授)
- タイトル:「地方発ビジネススクールの挑戦」
- 講演内容:以下、資料抜粋

「次世代成長産業分野での事業開発・事業改革のための高度人材養成プログラム」 2015年3月10日
高度人材養成のための社会人教育ワークショップ

地方発ビジネススクールの挑戦



香川大学大学院地域マネジメント研究科
香川大学ビジネススクール
教授・研究科長 板倉 宏昭

1

自己紹介 板倉 宏昭 (いたくら ひろあき)

東京大学大学院博士課程修了、博士(学術)(東京大学)取得
マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院修了、経営学修士号取得
2004年より(国立大学法人)香川大学大学院
地域マネジメント研究科(ビジネススクール)教授。

2011年、前研究科長
情報通信学会論文賞受賞
日本IBM株式会社
東京大学先端研研究員
マサチューセッツ工科大学経営大学院客員研究員
香川県成長戦略に関する懇談会委員
日本学術振興会科学研究費専門委員(経営学)
現在 日本経営システム学会常任理事、中西商経学会理事、横幹連合理事、
地域デザイン学会理事、研究技術計画学会理事

著書に『デジタル時代の組織設計』(白桃書房)2002年
『ケースブック 地方発企業の挑戦』(税務経理協会)2005年
『ネットワーク化が生み出す地域力』(白桃書房)2009年(共著)
『経営学講義』(勁草書房)2010年
『地域ブランドボックス「瀬戸内・小豆島」』(芙蓉書房)2013年(共著)などがある。
専門は経営学。

2

■カリキュラム体系(つづき)

スパイラル体系のカリキュラム編成
地域を的確に把握する能力とマネジメント能力の双方を習得した地域に精通するMBAの養成を目指す本研究科では、入学者の問題意識に基づき、必要な科目を分析基礎科目、地域基礎科目、基礎科目、応用科目の中から抽出し、カリキュラムを構築します。



14

香川ビジネス&パブリックコンペ2014




20

■地域マネジメント研究科の7つの戦略

1. 経営系と地域公共系の融合的な教育研究を進める。
2. 理論と実務の双方向教育を発展させる。

課題に対応

3. 農業・観光・医療・福祉などの文理融合の研究を進める。
→ 提供公開講座「地域活性化と観光創造」
→ 「オーリービジネス特別教育プログラム」
4. 地域振興とグローバル化を融合した教育研究のコンセプトを構築。
5. 縦のネットワークと横のネットワークの拡大。
→ リカレント・プログラム等を通じ、同窓会を支援。
6. 四国地域全域と中国地方東部からの学生の受け入れを進める。
→ e-ラーニングと遠隔授業のシステムを整備する。
7. 多忙な社会人向けに非学位プログラムを検討。

28

ありがとうございました

香川大学大学院地域マネジメント研究科
板倉宏昭

Web: <http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp>
電子メール itakura@gsm.kagawa-u.ac.jp

31

2.4.3 講演② 筑波大学

- 講師:久野 靖 氏(筑波大学ビジネスサイエンス系 教授)
- タイトル:「筑波大学大学院経営システム科学専攻について」
- 講演内容:以下、資料抜粋

**筑波大学大学院
経営システム科学専攻について**

久野 靖 2015/03/10

筑波大学社会人大学院の由来

国立大学で最初の社会人(夜間)大学院(平成元年発足)

社会人大学院としては2番手...最も古いのは慶應大学 KBS(昼間)

将来の18歳人口減 → 東京地区(旧東京教育大敷地)を活用した社会人大学院の構想

まず経営系の大学院 → 筑波地区社会学系が母体の構想 → 進まず

経営システム科学専攻の教育

- コンセプトは「経営大学院」だが東工大組が多い状態で発足
- ・ 経営学・数理科学 (OR)・計算機科学の3分野融合を旗印としてやってきた
- ・ 「経営の分かる理系パーソン」「数理や情報技術の分かる経営パーソン」
- ・ 研究をきちんとやってもらうという合意 → 修士論文を課す・研究重視
- ・ コースワークの多い「日本型 MBA」とは違う立ち位置
- 入学前教育「準備コース」
- ・ 数学準備コース... 数学の苦手な人向けに
- ・ 会計準備コース... 会計の基本を知らない人向けに
- ・ 計算機準備コース... Unixの基本操作、メール、ニュース、Web など
- 教員の研究分野と関連
- ・ 経営系: マーケティング、経営戦略、会計、ファイナンス、組織論/HRM
- ・ 数理系: 最適化、数理モデル、統計
- ・ 計算機系: 機械学習/人工知能、ソフトウェア工学、情報システム

H26 の修士論文題目

- ・ ワーク・ライフ・バランス施策の導入メカニズムに関する研究
- ・ 空港におけるセルフサービス機器利用普及のシナリオ分析
- ・ 購買パターンと消費パターンの関係性メカニズムに関する研究
- ・ 娯楽小説の消費者評価構造に関する研究
- ・ 組織変革におけるトップとミドルの信頼蓄積プロセス
- ・ 有料 TV チャンネル視聴におけるブランドアイデンティティの影響
- ・ リノベーション再販物件の評価基準と付加価値の分析
- ・ M&A 企業におけるコンフリクトマネジメント
- ・ ロバストポートフォリオ最適化のための期待リターン推定
- ・ 医薬品開発プロジェクトのリスクに関する研究
- ・ 携帯電話事業者におけるプラットフォーム戦略の研究など

H26 の学位論文題目

- ・ ノンパラメトリック手法を用いた金融危機発生メカニズムの解明に関する研究
- ・ 日本のソフトウェア産業における IT エンジニアの職種遷移とスキルに関する研究
- ・ ソフトウェア開発における設計書の欠陥検出手法に関する研究
- ・ 持続的かつ倫理的な情報活用能力養成のための情報教育体系の研究
- ・ DNS クエリデータにもとづくソーシャルメディア利用者行動分析
- ・ スーパーマーケットにおける欠品に関する研究
- ・ Modeling and Analysis of the Effects of Information Contexts induced by the Structure of the Information

修士学生から話を聞くと...

- ・ 「研究がこんなに重視されているとは思わなかった」
- ・ 他のコースワーク型の大学院との違いがあまり知られていない「しかし、研究はとて役に立つと思った」
- ・ これからの仕事に役立つのは「未知の問題を発見しそれに対応していく」こと
- ・ 研究をしっかりとやるというのはそのための力を養うことに他ならない

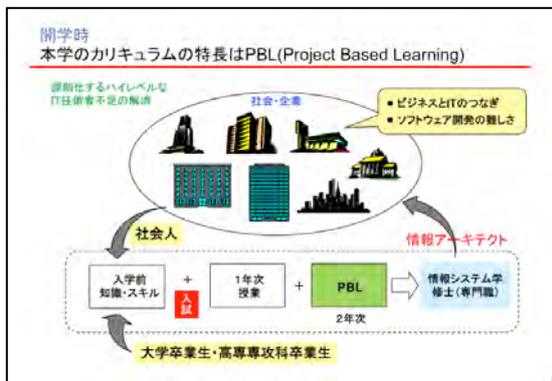
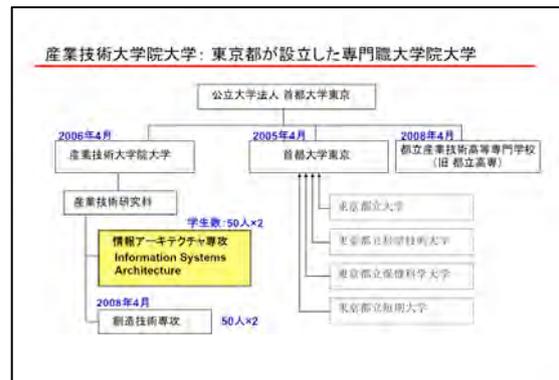
2.4.4 講演③ 産業技術大学院大学

- 講師: 戸沢 義夫 氏 (産業技術大学院大学産業技術研究科 情報アーキテクチャ専攻 教授)
- タイトル: 「産業技術大学院大学の社会人学生対策」
- 講演内容: 以下、資料抜粋

**産業技術大学院大学の
社会人学生対策**

2015年 3月10日(火)

産業技術大学院大学
戸沢義夫



認証評価での課題
人材像ごとに重要視する知識・スキル CCSF知識体系中分類項目

専攻アーキテクト
K-07-17(システム戦略)
K-08-19(経営戦略マネジメント)
K-08-21(ビジネスインダストリ)
K-09-22(企業活動)
K-10-24(ビジネス知識)

専攻アーキテクト定義
情報アーキテクト及びものづくりアーキテクトを構成する人材像の一つで、「次世代成長領域での事業開発・事業改革のための高度人材」を指します。具体的には、イノベーションによって従来の仕組みを改革し、事業を再構築(開発・再生)し、当該成長分野の加速度的成長を効率的・効果的に実現できる高度人材や、単に新規事業を企画して終わりとするのではなく、事業戦略・マネジメント・IT技術と、成長分野に関する高いレベルの知識を中核として、実際に抱いた戦略から事業の構築、運用までを実現できる人材の総称です。

人材像とPBL履修条件

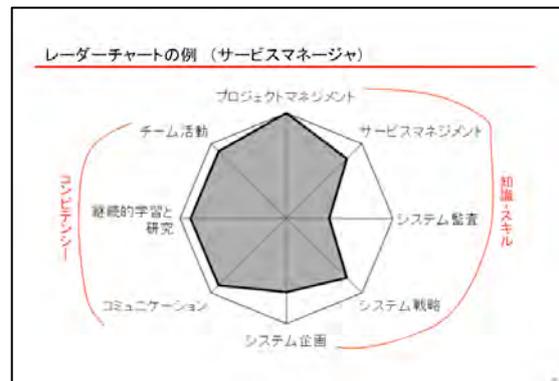
≥2単位以上修得(2014年4月以前入学者)
12単位以上修得(2014年10月入学者)
修了要件40単位として認められる単位に限る

2014年4月入学者には次の条件(グローバルスペシャリストコース以外)が付加されます

- ・ 配属されるPBLのコースで設定されている**履修科目を14単位以上**修得
- ・ 上記22単位のうち基礎科目以外の単位が16単位以上

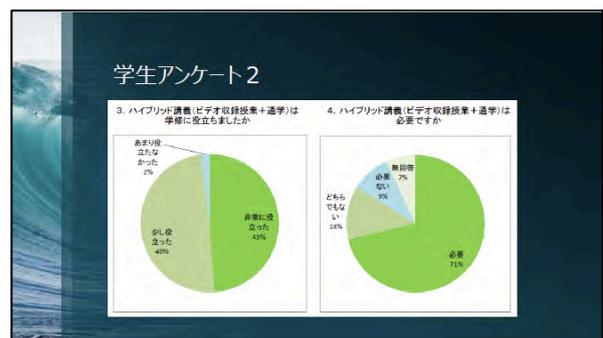
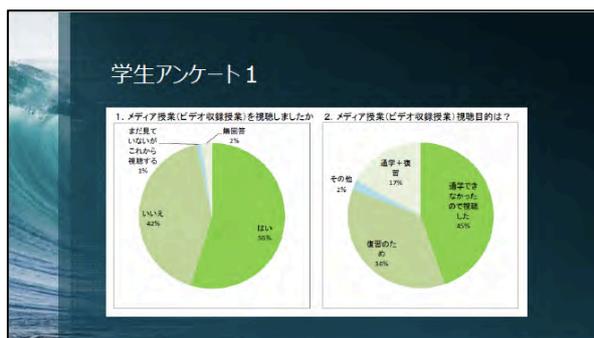
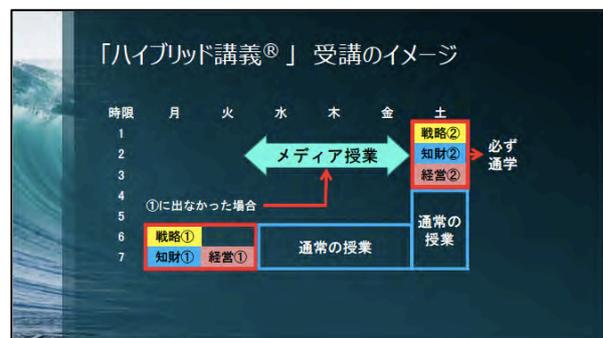
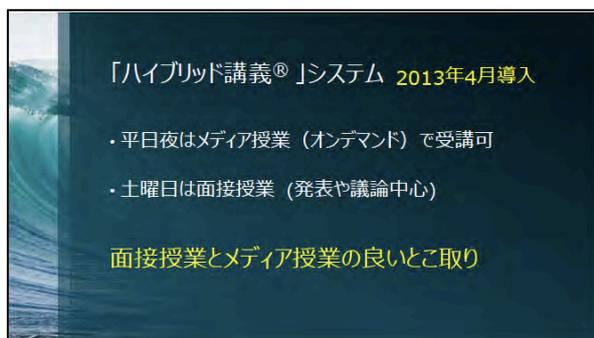
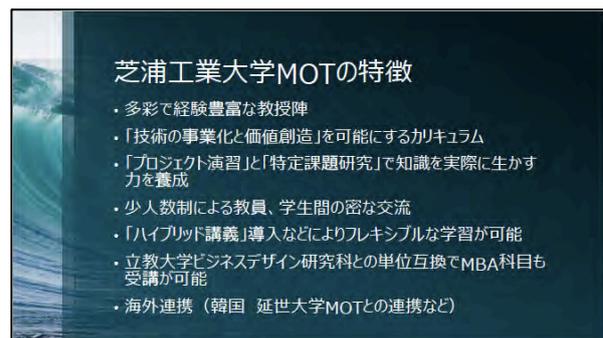
コースとPBLの関係

小山PBL: システムアーキテクト	テクニカルスペシャリスト
酒森PBL: プロジェクトマネージャ	サービスマネージャ
瀬戸PBL: テクニカルスペシャリスト	サービスマネージャ
中鉢PBL: プロジェクトマネージャ	テクニカルスペシャリスト
戸沢PBL: ストラテジスト	サービスマネージャ
飛田PBL: システムアーキテクト	テクニカルスペシャリスト
成田PBL: ストラテジスト	テクニカルスペシャリスト
松尾PBL: システムアーキテクト	テクニカルスペシャリスト
前田PBL: グローバルスペシャリスト	テクニカルスペシャリスト



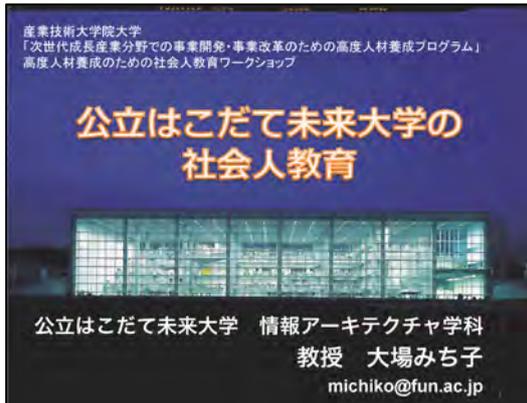
2.4.5 講演④ 芝浦工業大学

- 講師: 田中 秀穂 氏 (芝浦工業大学専門職大学院工学マネジメント研究科 研究科長 教授)
- タイトル: 「技術経営学 MOT・ハイブリッド講義実施の背景と運用について」
- 講演内容: 以下、資料抜粋



2.4.6 講演⑤ はこだて未来大学

- 講師: 大場 みち子 氏(はこだて未来大学情報アーキテクチャ学科 教授)
- タイトル: 「公立はこだて未来大学の社会人教育」
- 講演内容: 以下、資料抜粋



自己紹介

- 出身 茨城県土浦市
- 経歴
 - 1982年4月 (株) 日立製作所 システム開発研究所に入社
 - 知識工学応用システムの研究に従事
 - 1990年8月 ソフトウェア工場 (現ソフトウェア事業部) に異動
 - ミドルウェアの設計開発、マーケティング
 - 新分野のビジネス開拓、プロモーション
 - 2001年9月 大阪大学大学院工学研究科博士課程 後期修了、博士(工学) 【社会人入学】
 - 2010年4月～ 公立はこだて未来大学・教授
- 現在の仕事
 - 実践的ICT人材育成、就職委員長
 - 研究分野: ソフトウェア工学 (情報システム構築) ドキュメントコミュニケーション
- 趣味
 - 温泉、山歩き、旅行、ドライブ、カメラ、映画・海外ドラマ鑑賞

ノーベル賞小冊博士 03.3.10 日大・中研
Michiko Oba Future University Hakodate

研究科概要

複雑系情報科学 複雑系とは、自然現象と人間社会の両方に存在する多様なシステムのこと。 情報科学や数理学の知識、 情報処理の実践的スキル に基づく創造的な研究	知能情報科学 知能のメカニズムの理解と、 人工知能やハードウェア、 認知科学・情報表現 を組み合わせた研究
情報アーキテクチャ 人間の能力、感性などの特性 を活かした近未来情報システ ムの研究 高度ICT・実践型教育 (PBL)	メディアデザイン メディアデザインとは、様々な表現手段の組み合わせによる 人間の互換や活動を拡張 するコンピュータの 今と未来を探索する研究

Michiko Oba Future University Hakodate

大学院社会人入学生の事例

1. ソフトウェア会社離職→博士(前期)→起業
2. 総合電機メーカー、ソフトウェア会社離職→博士(後期)在学中
3. 印刷会社[共同研究]→博士(後期)在学中
4. 官庁技師離職→博士(後期)→北大研究員→未来大学助教→未来大学准教授
5. 未来大博士(前期)終了→某大学助教→起業→未来大職員→未来大特任助教(→)博士(後期)

Michiko Oba Future University Hakodate

2.総合電機メーカー他離職～博士へ

- 研究テーマ:
 - 「視点の可視化による作文支援」をテーマに取組始めて、「編集操作の記録(「測定」と呼ばれる)による作文行動の分析・評価」にたどり着いた。
- 在学中の生活
 - ひたすら開発、プレゼン、論文
- 社会人入学を考えている人へ
 - 「研究は誰もやっていない最先端のことをやる」というのは誤り。みんながやっていることの半歩先くらいをやるのがよい。
 - 同じ研究をしているコミュニティが小さいということは、論文を通すにあたって、とても不利。

Michiko Oba Future University Hakodate

まとめ

1. 人材育成におけるはこだて未来大学の特徴
 - 社会との繋がりを重視する教育
 - 求める未来大学大学院生像
2. 大学院入学と学位取得
 - 大学院入学と学位取得状況
 - 入試で確認する能力
3. 大学院社会人生の事例

Michiko Oba Future University Hakodate